

ユニセフ兵庫ニュース

Wish

vol. **49**
2016年5月号



世代を越え語り合ったワールドカフェ（ユニセフのつどい）

CONTENTS

特集 イベントレポート
2-5 第14回 **ユニセフのつどい**

6-7 活動ファイル
2016年1月～4月
8 お知らせ

Event Data イベントデータ

日 時：2016年3月6日(日)
会 場：コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
参加者：200人



特集 イベントレポート

第14回 ユニセフ
のつどい
Unicef Festival

世界のともだちと
心をつなごう

人と人をつなぐ魔法の輪

毎年開催されているユニセフのつどいは、
人々が出会い、共につくる交流の場です。

14回目をむかえたユニセフのつどいの様子をまとめました。





Profile プロフィール

シャラド チャンドラ ライ
Sharad Chandra Rai さん

2007年から立命館アジア太平洋大学へ留学。2012年「YouMe Nepal」を設立。YouMeには「夢」と「You & Me」の意味がこめられている。現在はIT企業に勤めながら、理想のネパールをつくる活動をしている。

1 トークショー 僕が故郷に学校 をつくったわけ

ネパールの現状を変えるためにはいい学校をつくるしかない」と立ち上がり、今は「未来の教育を、ネパールから」というテーマを掲げて、世界でも例がない最高の学び場をつくらうとしている彼の熱い思いを伝えます。

10歳で運命が変わった

私が生まれたのは、エベレストのすぐ南、標高1500mにあるコタン郡にある小さな村です。電気もガスもなく、水汲みに行くのに2時間歩きまわります。道路はあるけれど車は走っていません。川の近くにはトラが出ます。

私が10歳の時、イギリスのイートン校の姉妹校がカトマンズにでき、全国から99人の生徒が選ばれました。そのうち奨学金で通える33人のうちの一人になったのです。

村から学校までは3日間歩き、さらに夜行バスに乗るため、私は学校の寮に入りました。学費・食費・衣服費など必要な費用を全て国に出してもらいました。だから私が今あるのは国のおかげなのです。

YouMe Schoolの始まり

ネパールでは中学卒業試験に合格したら高校に進学できます。私立の学校では90%の生徒が合格しますが、公立の学校では10%しか合格しません。学校全体の80%を占める公立学校では、先生の教育に対するモチベーションが低く、まともな授業が行われていないのです。小学校の

途中で学校をやめてしまったり、何回も中学卒業試験に失敗して勉強を続ける意欲を失ってしまった若者は、中東やマレーシアへ出稼ぎに行くようになってしまっています。1日1700人が出稼ぎに行くと、毎日4人が遺体で帰国するというような状況なのです。

私は国への恩返しとして、一人でも多くの子どもたちの未来の夢のために、理想の学校をつくらうと思いました。そして2012年、30万円を集めて、最初のYouMe Schoolをつくりました。現在10人の先生と138人の生徒がいます。今は5年生までしかありませんが、2020年までには高校まで拡大するつもりです。この学校は日本の学校の良いところをたくさん真似ています。子どもたちは皆、お揃いの赤い帽子をかぶっています。この帽子は子どもたちの誇りです。5歳の子でも16kmの道のりを歩いて通学する力になっています。日本では当たり前ですが、先生も生徒も保護者も約束と時間を守り、年齢の上下に関係なく挨拶をします。この学校には社会の慣習として残っているカーストの考え方は存在しません。だから普通は低い

カーストの人がするとされる掃除も生徒みんなが自分たちです。

この学校を支える里親プロジェクトには、毎月千円を出して支援している日本の高校生もいます。

未来の学び場

2017年4月に開校予定の2校目からは、10年後のネパールを見据えて、ITの技術を学べる学校にしていきたいです。今年からは学校建設資金を集めるクラウドファンディングに挑戦しています。

今のネパールは高等教育を受けて外国に留学しても、国へ戻って働こうとは思えない状態です。国の骨組みとなるべき公務員や警察に賄賂が横行していて思うように動けないのです。私はネパールと日本との懸け橋となるような活動を通して学校をつくり、「国に恩返しを」という心を持つ若者を育成していきたいと思っています。そして、将来は政治家になってネパールをより良い国にするために頑張ります。

* 目的を実現するためにインターネットを通じて多数の支援者から資金を募る方法

2

ワークショップ わくわく ワールドカフェ

人に寄り添い、支援する人がいる。
その活動の原動力は。その想いは。
知りたい・聞きたい・話したい人が集まった
ワールドカフェ。
その全容を紹介します。



青木梨花さん



中西匠貴さん 中津川勇志さん



早坂隆一さん チャンドラ・ライさん



5

ホール

9



11

兵庫県コミュニケーション
学習センター



8

石脇智広さん



北村蕃香さん

4

ロビー



10

北野愛さん
社民婦人会

3 SMILE

若者の居場所づくりを！

ワークショップは仮想「家出カフェ」。参加者が店長役、スカウト役になり若者に起こる問題を見つけ議論しました。大事なものは、身近にいる人。それとオレンジ色の明かりと温かい飲み物です。

2 日本ブルンジ 架け橋プロジェクト

ブルンジをご存知ですか

ブルンジは東アフリカに位置する小さな国。一人でも多くの人にブルンジを知ってほしいです。ビデオレター交換プロジェクトではブルンジの産業、文化などの情報を英語版で発信しています。

1 SPEC

ネパールが身近な存在に

ネパールにはストリートチルドレン、教育他たくさん問題があります。2015年の大震災後も子どもたちとの運動会や中学生のウェブ交流授業を続け、人と人とのつながりを大切にしています。

3

クロマチックハーモニカ演奏

オープニングとエンディングを飾ったハーモニカ演奏をする竹内海人さん

竹内 海人さん

大阪出身の19歳。9歳でクロマチックハーモニカ奏者の徳永延生さんに師事。2013年「F・H日本ハーモニカコンテスト」総合グランプリ受賞。



ブース出展のみの参加団体 (順不同)

- ・ルワンダの教育を考える会
- ・シリア支援
- ・ガーナ支援交流協会
- ・やんだくない
- ・賀川記念館
- ・あみーず
- ・ワタマプロジェクト
- ・コヨット
- ・ずっと折り鶴プロジェクト

◀各地からの商品がたくさん並びました。



▶ 昨年に引き続き行われたワールドカフェ。参加者の関心は高く、プレゼンターとの熱い対話が続きました。さまざまな支援活動へかける彼らの想いに拍手を送り、抱えている課題を共に考える充実したひとときでした。

7 YouMe Nepal

夢をかなえる場 それが学校

学校経営、先生の養成、奨学金の工面など問題山積ですが、子どもたちが将来の夢をかなえる場をつくりたい。「僕自身がネパールを知り、学び、日本を見直す機会になっています」と、早坂さんは話しました。

9 アマニ・ヤ・ アフリカ

子どもたちに夢ある人生を

ケニヤ最大級のスラムにあるマゴンスクールを応援しています。ここでは500人の子どもが勉強したり職業訓練を受けたりしています。卒業後、仕事を求めるのは難しいですが、手に職を付け、夢のある人生を送ってほしいです。

11 兵庫県ユニセフ協会

絵本作りは大人気

子ども対象のワークショップとして絵本作りをしました。自分でお話を考え、絵を描いたり、シールを貼ったりして、世界にひとつだけの自分の絵本ができあがり、子どもたちは大満足の様子でした。

6 RAINBOW AFRIKA

ビジネスこそが 国の発展のカギ

タンザニアに行ったとき、仕事もなく雑談で一日を過ごす男性たちを見て衝撃を受けました。フェアトレードの商品販売やクラウドファンディングをして起業の支援をしています。

8 石光商事株式会社

一杯のコーヒーから うまれる国際協力

ブラジルやルワンダではコーヒー産業が経済発展につながりました。タイでは「麻薬栽培からコーヒー栽培へ」と、モデル農園づくりをしています。支援に際しては「魚をあげるのではなく、魚の捕り方を教える」ことを大事にしています。

10 近大姫路大学

HIV/エイズ 苦しむ人を 一人でも無くしたい

国内の若者の間にHIV感染が広がっていますが、これは防ぐことができる病気です。そのためには、若者への正しい教育と社会の理解が必要です。僕は、若者たちへ、自分を大事にするように訴えていきます。



ステージ

5 CHA

夢とHappyが広がれば

カンボジアで障害のある女性が生きるのは難しいです。彼女たちは、人や社会の役に立ちたいという夢を持っています。そんな一人ひとりが活躍し、世界のHappyが広がればいいと思います。

4 ソルト 学生支部

フィリピンの女性と 子どもたちのために

ゴミ山の問題、人身売買から子どもたちを守る、国の経済的自立、教育、そして女性が自立できるための支援のあり方について意見交流をしました。刺繍体験も好評でした。

5

募金贈呈式



参加団体 (敬称略、順不同)

- ・伊藤ハム株式会社
- ・コープこうべ
- ・コープこうべ労働組合
- ・コープこうべ定時職員協議会
- ・神戸市立鷹取中学校
- ・自由ヶ丘高等学校

4

ブース出展



2

ユニセフパネル展

「もったいないばあさんの
ワールドレポート展」

日時 1月20日(水)～29日(金)
場所 コープこうべ生活文化センター展示室

絵本作家の真珠まり子さんがイラストで描く世界10カ国の9歳の子どもたち。9カ国の子どもたちは、ユニセフのウェブサイトで紹介されている、児童労働、無国籍、少年兵、難民など厳しい環境の中で暮らす子どもたち。そして、あとのひとりには好き嫌いが多くて食べ残しをよくする日本の子どもです。「もったいないばあさん」をガイド役に、「もったいない」という言葉を通して、日本に暮らす私たちと世界で起きている問題にはどんな関係があるかを伝えていました



3

ネパール大地震支援活動報告
&映画上映会

日時 2月13日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター
主催 コープこうべ
参加者 87人

コープこうべはネパール大地震直後から緊急支援を呼びかけ、寄せられた募金を(公財)PHD協会、CODE海外災害援助市民センター、ユニセフの3団体に託しました。

この度、各団体が行った支援についての報告会が催され、その中で、ユニセフからは次のような報告をしました。

ネパールでは今回の地震により全国75郡のうち31郡が被害に遭いました。ユニセフは、ネパール政府や人道支援パートナー団体と協力しながら、水と衛生、保健、栄養、教育、保護の分野で、被災した子どもたちや女性の支援を全力で行ってきました。これからは、ネパールが災害に強い回復力ある国になるための支援も行っていきます。

報告会に先立ち、神戸市長田区出身の佐野由美さんのネパールでのひたむきな活動を収めたドキュメンタリー映画「With...若き女性美術作家の生涯」が上映されました。



Activities File

活動ファイル

兵庫ユニセフ協会の活動履歴

2016年1月～4月

活 動 一 覧

Activities List

学習会一覧

月日	訪問先	対象	人数	備考
2月 7日	コープこうべ ふれあいセンター桜塚	小学生・大人	20	訪問
2月12日	西宮市立甲子園浜小学校	5年生	160	訪問
2月15日	赤穂市立城西小学校	6年生	64	訪問
3月18日	コープ浜芦屋 レインボースクール	大人	8	訪問
3月30日	兵庫県立三木東高等学校	2年生	1	受入

地域活動一覧

*ユニセフ紹介と支援物資の展示

月日	イベント名	
1月20-29日	もったいないばあさんのワールドレポート展	
2月 7日	2016ユニセフカップ神戸バレンタイン・ラブラン	*
2月13日	ネパール大地震支援活動報告&映画上映会	
2月22日	未来を創るピースフォーラム	
2月28日	西宮コープファミリーフェスタ	*
3月 6日	第14回 ユニセフのつどい	
3月12日	祭 in すみよし	*
3月13日	神戸国際交流フェア	*
4月10日	2016 ユニセフカップ 芦屋国際ファンラン	*
4月23日	第1回 国際理解講座	
4月30日	ユニセフ入門講座	

募金

月日	対象	備考
2月12日	啓明学院	持参
2月22日	神戸市立高和小学校	訪問
3月 7日	西宮市立上甲子園中学校	持参
3月17日	尼崎市立園田南小学校	訪問
4月11日	西宮ホワイトライオンズクラブ	外貨持参

1

2016 ユニセフカップ
神戸バレンタイン・ラブラン
芦屋国際ファンラン

日時・会場 2月 7日(日) 神戸ポートアイランド市民広場
4月10日(日) 芦屋中央公園

今年も、神戸では「戦争、災害、貧困に苦しむ子どもたちに愛の手を!」、芦屋では「教育を世界すべての子どもたちに!」をテーマに大会が開催され、参加料の一部を寄付していただきました。



4

未来を創るピースフォーラム 海外から見た福島原発事故後の 私たちの暮らしを考える

日時 2月22日(月)
場所 コープこうべ生活文化センター
ゲスト スティーブン・リーバーさん(前広島文化センター理事長)
 アーニー・ガンダーセンさん(原子力発電技術専門家)
報告者 松本幸子さん(コープこうべ組合員)
 小寺恵三さん(コープこうべ職員)
主催 コープこうべ、神戸YMCA、兵庫県ユニセフ協会
協力 神戸YWCA、避難サポートひょうご、ポーボキ・ピース・プロジェクト
参加者 112人

東日本大震災から5年を迎えた福島原発事故を改めて考えるフォーラムが開かれました。

フォーラムに先立ち、2015年4月ニューヨークで行われた核不拡散条約(NTP)運用再検討会議に参加した松本さん、小寺さんから報告がありました。二人は「日本人の子弟が通うアフタースクール訪問、国連本部前アピール活動、被爆展開催、そして、ペンシルベニア大学での交流などを通して感じたことは、平和に対する考えの違いでした」と、話しました。

リーバーさんは「広島・長崎に原爆を投下された事実、福島の原発事故の体験、そこには『核』についてのストーリーがあります。世界には、核はふれたくないものとして扱われることがあります。だからこそ、日本から世界に向け、平和を大切にす文化を草の根レベルで訴えていくことが重要です」と、強調しました。

スティーブン・リーバーさん



アーニー・ガンダーセンさん



ガンダーセンさんは、事故後の福島へ何度も行き、放射線量等についても独自で検証。3月11日当日の判断や事故後の対応の難しさと日本の江戸時代からの災害や津波のデータを基にした日本国内の原発事故のリスクを説明しました。さらに、原発再稼働の問題にもふれ、「私たちは科学技術のリスクをいつまで負い続けるのでしょうか」と、問いかけました。

福島県から避難している女性は「帰還政策が勧められていますが、今、メルトダウンしたものがどこにあり、どのような状態で置かれているのか。完全に廃炉にするまでどれくらいかかるのか、何も知らされていない。私たちはどう判断したらよいかわかりません」と、発言しました。

このフォーラムは、原発事故が引き起こした大きな負担と福島の復興への道筋がいかに困難なことか、核のない平和な世界を築くために私たちにできることを考える機会となりました。

5

神戸国際交流フェア 2016

日時 3月13日(日)
会場 ハーバーランド・スペースシアター(神戸市中央区)

兵庫県ユニセフ協会は、外国人をはじめ国際協力に関心のある人々にユニセフのことを知っていただくため、設立当初から神戸国際交流フェアに参加してきました。

ユニセフ製品の頒布が終了した昨年からは展示ブースで活動紹

介を行っています。ネパールの水がめへの関心は高く、「国では実際に使っていましたよ」と、水がめを持ってカメラに収まる人も。またクイズラリーに参加の人々は掲示物の中から一生懸命クイズの答えを探していました。

そして、今年のトピックは何と言ってもステージパフォーマンス。ペープサート(紙人形劇)を使ったミニ講座に加え、ユニセフが広めている世界手洗いダンスを踊りました。



(左) 手洗いダンスを踊るユニセフボランティア
 (中) ペープサートを使い、きれいな水の大切さを伝えるミニ講座
 (右) クイズラリーで賑わうユニセフブース

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ネパール大地震	ネパール K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道支援	人道支援 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

エグアドル大地震への緊急募金は「自然災害」で受け付けています。ご協力よろしくお願いします。

あなたもボランティア! Volunteer

ボランティア募集中

「できる人が できる時に できることを」をモットーに活動しています。ボランティア連絡会は原則第4土曜日に行っています。お気軽にご連絡ください。

Wish vol.49

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2016年(平成28年)5月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605

FAX：078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00～16:00)

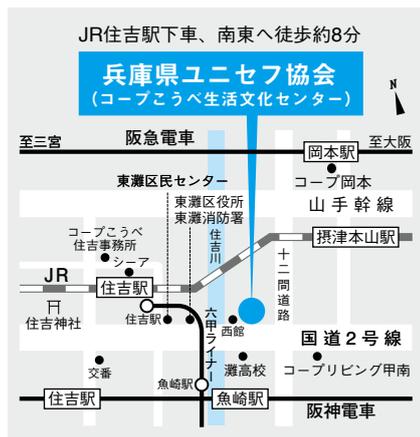
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

講師の都合により予定を変更する場合があります。詳細はHPをご覧ください。

2016年 ユニセフ講座のご案内

どなたでもご参加いただけます。

参加費
無料

日時	テーマ・講師
4月23日(土) (終了しました)	■国際理解講座① ～子どもたちの未来の話をしよう～ 講師：永遠瑠まりルイズさん、早川千晶さん
4月30日(土) (終了しました)	ユニセフ入門講座 水のワークショップ&ミャンマーユニセフスタディツアー報告
5月28日(土) 13:30～15:30	■国際理解講座② ～つながる支援 ガーナと東北～ 講師：菅野芳春さん(元青年海外協力隊員)
7月2日(土) 13:00～	ユニセフセタセミナー 会場：香川県民ホール「レクザムホール」
7月23日(土) 10:00～	■国際理解講座③ ～イラク、シリアの取材現場から(仮)～ 講師：玉本英子さん(アジアプレス) 会場：東播磨生活創造センターかこむ(加古川市)
8月6日(土) 13:00～16:30	ユニセフ国際セミナー 「子どもの権利条約」から考える ～子どもにとって最適なこと～ 講師：浜田進士さん (子どもの権利条約総合研究所関西事務所長 / 児童自立援助ホーム「あらんの家」ホーム長)
9月24日(土) 14:00～16:00	■ユニ・ボラ塾① ～ネパールにおける人間の安全保障の現状と課題～ 講師：末吉洋文さん(帝塚山大学法学部教授)
10月22日(土) 13:30～15:30	■国際理解講座④ ～NGOでのインターンを通じて(仮)～ 講師：延岡由則さん(神戸市立外国語大学4回生)
11月26日(土) 14:00～16:00	■ユニ・ボラ塾② ～難民時代に生きるということ～ 講師：末吉洋文さん(帝塚山大学法学部教授)
12月3日(土) 13:30～15:30	■国際理解講座⑤ 講師：大津司郎さん(ジャーナリスト)、甲斐信好さん(拓殖大学国際学部教授)

※国際理解講座は、日本国連協会兵庫県本部との共催で、公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成を受け行います。

お申込み、お問い合わせ先 事務局 078-435-1605

Booth 出展参加

コープこうべフェス コピービレッジ in 万博

日時：5月14日(土)、15日(日) 11:00～16:00

会場：万博記念公園 下のひろば

2016年4月14日以降に発生した熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ユニセフ出前学習会



学習会の講師派遣を行っています。お気軽にお問い合わせください。



ユニセフ ひょうご サポーター

賛助会員募集中

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。